

●炭焼き体験原木準備 4日 この日は定例の事務局会議が9時30分から予定されていました。ところが9時30分が枚方出張所の原木受け取り所の開門時間となっていて、先着順で受け取りが行われるので、いち早く開門に並ばないと適切な原木が手に入らないとのこと。新年初めの事務局会議の開始時間を10時と遅らせて、事務所に8時集合したのは播川、大村、森嶋、山村の4人で出発しました。軽トラックでは回数多く往復しなければなりませんので、昨年寄付をいただいた星野登茂一さんの1トントラックを使用することにしました。到着したのが9時ジャストでした。先に出発した播川さんら3人は淀川河川事務所で手続きの確認を済ませ、現場に4人が珍しく同時刻に到着できました。約30分の選別と積み込みで、炭焼き体験1回分を打田の炭窯場におろしました。年末に草刈りを済ませておいてくれた大村さんのおかげで、随分とスムーズに下ろせました。炭窯の中には半分ほど原木が詰め込まれており残り半分を入れれば初回の炭焼きは可能です。1月中には点火予定です。10時30分から事務局会議行って、午後に枚方へ出かけてみると全部が運び出されて、残っていた直径30cmの太くて重いもの、それを20個余り運搬しました。これは4分割の必要があります。吉村さんが制作中の薪割り機の完成でもって作業を行います。新年初仕事は枚方市へ炭焼き体験の原木の受け取りでした

●七草摘みと七草がゆ 前日準備 5日 今年の正月は連日好天気恵まれて晴天続きでした。この日も雨の気配はありませんでした。午前中はパソコン教室と週刊ニュース650号の発行とホームページの更新です。午後から七草摘みの事前確認や竹椀と竹箸づくり、用具や備品の運び込みです。植物部会の事前調査と摘み取り、現地案内場所の確認が行われました。同時に竹の切り出しと竹のお椀60個と箸30人分を作り上げました。いずれも人力によるのこぎりを使って切り落とすもので、かなり腕力が必要でした。そして最後にお椀の縁を研磨しました。4人が1時から作業を始めて4時30分までかかりました。少し暖だったので、気分的にはスムーズな作業でした。

6日当日 集合9時にはスタッフが勢揃しました。9時30分には青代さんと有田さんに三山木駅まで送迎をお願いしました。普賢寺小学校前で大村さんが出迎えました。受付では35名の参加で、昨年より子どもの人数が多くなって、元気な声が響き渡り、新春にふさわしい始まりになりました。準備が整ったところで開会挨拶と歌声・「一月一日」と「富士山」を歌いあげました。自己紹介を全員が行い、七草のお話と解説を行ない、初参加者の方々に麻呂・姫・わらべの古代衣装を身につけていただき、小道具の竹の小籠をもって七草摘みを行いました。前日の準備ができていたので、七草摘みの案内と説明がこれまでになくスムーズに行われました。摘んだ七草と手を洗って、子どもたちを中心に、まな板で刻み込みました。大人は囃子歌で調子を取り、最後はお母さんが追い込んで刻み込みを行い、炊き上がり前のおかゆに入れて煮込みました。出来上がった“七草がゆ”と“芋がゆ”は、新鮮な野菜の香りと味がして、まさに自然食そのものを実感しました。腹いっぱいになった頃に、手品や歌声、腹話術、皿回しのリクレーションを楽しみ、教育棟ではオオムラサキやゴマダラチョウの幼虫探しも行って、楽しい集いを閉じました。終わりにみんなが後始末を手伝ってきれいな教育棟とその広場に戻しました。

●会費未納入の会員さんへ 10回連続のニュースハガキ発送 年末に30人の会費未納入の皆さんにハガキを送りました。しかし17名の皆様から返答がなく、納入もいただくことができませんでした。このまま会誌を送ったり、連絡をすることは効果が期待できないと判断して、未納入者への対応をこれ以後会員として取り扱わないことになりました。大変残念な事態になりましたが、この処理をもって、2016年度の会費納入率は100%に到達することになりました。

●労務提供報告書の提出を 里山の会の活動と成果は、完全ボランティアによる労働提供によって継続維持されています。この巨大な時間と労働力の提供があって、数々の成果が積み上げられているのです。この評価が認定NPO資格を得れば、労働力時間を金銭寄付と計算して、年度末には納税した金額の還元が行われることになります。この資格を得るためには正確な実績が記帳された記録がなければなりません。その提出を求めています。

●**12 月度の会計状況** 2016 年 12 月末の現金手持ち残高は 143 万円です。ちなみに 11 月度は 136 万円でした。増加原因は環境フェスタや文化祭などの収益があったからです。しかし、支出面では地域力プロジェクトの負担金が 100 万円あるので、現在のところぎりぎりの運営となっています。加えて、会員の減少が下げ止まらないので、このままだと節約に努力しなければなりません。新会員獲得へのご協力をお願いいたします。

●**第 34 回京都木津川マラソン大会** 昨年の単純人数（兼任任務を除く）では 36 人の皆さんがご協力をいただきました。午前 7 時には受付が始まり、駅前のタクシーや駐車場の受け付け、そして、会場の暖房確保の焚火の開始、一段落つく頃、選手受付が始まり、いよいよスタートに向けた動きが本格化します。そして夕方 16 時 15 分には最終ランナーの到着で、その後“星のランナー”の最後尾の到着で終了になります。現在、当日要員に 10 名程度の人数が不足しています。できる限りのご協力をいただけるとありがたいです。総括責任者の大村様に電話ください。

●**里山農園の運営検討会の開催** 1 月 23 日（月）10 時から里山の会事務所 教育棟の床板の再生が進み、これまでの 3 年間の活動とその経験を生かして「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」の拠点の役割をどのように果たすのか、年間活用計画を検討する機会として開催いたします。カスミサンショウウオやオオムラサキなどの生き物、そして豊富な希少植物群、高齢化と農業崩壊、農村機能の劣化などを見て、考えていきたいと思っている。有志のご参加を期待しています。

●**カスミサンショウウオの観察会開催** 河川レンジャーのグループレンジャー福山伊吹君が 7 日にカスミサンショウウオの卵囊の発見池を観察調査しました。京都市内では成虫のオスが早くも池に入って、メスの進出を待っているとかとの情報に基づいて、京田辺市でも始まっているのではないかと調査しました。約 2 時間みっちり調べましたが、発見できませんでした。2 週間後の 1 月 22 日（日）午前 10 時から里山農園に集合して徹底的な調査を行う計画です。胴長靴など必要道具を持参のうえご参加をお待ちしています。当日里山農園ご参集ください。

●**黒豆味噌づくりについて** 近年味噌づくりの意世話役を引き受けていただいていた播川さんの体調がすぐれず、今年は参加受付が手遅れになり、やむなく中止となりました。ご期待されていた皆さんごめんなさい。

●**地域力再生プロジェクト事業のうち 木津川植生の写真集本文第一次分がまとまる。**それによると掲載写真枚数は 676 種で、ページ数は 490 ページとなり、目次や解説を加えることになります。当初の撮影目標数は 1065 種を計画しましたが、現在の到達は 63.47%となっています。作品は素晴らしい撮影です。ご期待ください。

●**今年度の里山展** 2 月 14 日から 1 週間 2 月 19 日（日）まで開催。

京田辺市中央図書館ギャラリー“かんなび”で行います。今回は木津川に生育する植物調査観察を結成 20 周年記念事業として 14 年 15 年 16 年と継続調査を行ってきた成果を一堂に展示する予定です。故郷の川木津川について少しでも植物から見た川としてご理解が深まればと思います。ご期待ください。期間中に解説会を行います。（日時場所は未定）